

教科(科目)	国語(現代の国語)	単位数	2単位	学年(コース)	1 学年（全クラス）
使用教科書	大修館書店『現代の国語』				
副教材等	大修館書店『現代の国語 学習ノート』 桐原書店『常用漢字ワイドアルファ』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

○グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

～卒業までにこのような資質・能力を育みます～

- ① 主体的に課題を見つける感覚を養い、自ら学び、解決策を創造する資質・能力と産業社会で求められる倫理観と規範意識を育成します。
- ② 生涯にわたって学び続ける意欲を養い、新たな産業に柔軟に対応する自己指導力を育成します。
- ③ 国際的視野に立って考える姿勢を養い、地域の発展と豊かな暮らしに貢献するために必要な思考力、発想力を育成します。

○カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～

- ① 共通教科の学びを強化して、基礎学力の定着を図ります。
- ② 工業高校で学ぶ基本的な知識や技術を習得し、課題研究や新しいIT技術について、主体的な学び方と実践する場を設定します。
- ③ 将来、国内・国際社会で活躍するために必要なコミュニケーション能力や英語力の向上を図り、多様な価値観を持つ仲間との協働的学習を行います。

2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) ことばが持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 指導の重点

進学・就職等希望進路が多岐にわたっていることから、

- ① 基本的な言語事項の習得を重視し、特に常用漢字の確実な習得を目指します。
- ② 文章を的確に理解した上で、自分の考え方を確立させることを目指します。
- ③ 更にそれらを的確に表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	・ 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・ 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、ことばが持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次とおりです。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
	以上の観点を踏まえ、 ・ ペーパーテストの分析 ・ 観察、実験、式やグラフでの表現の観察 ・ レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ ペーパーテストの分析 ・ 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・ レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・ 振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・ レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・ 振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。

6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の 観点	評価方法
4	考えを発信する	5 A	結論を出すために話し合う	・読書の魅力を考え図書館利用を増やすアイデアを話し合う。	abc	協議の様子 (行動の確認)
	明日をひらく	5 B	伝える・伝え合う	・適切な語句・文体を選ぶ。	abc	学習ノート
5	要点をつかむ	2 C	山崎正和「水の東西」	・筆者の主張や論拠、文章の構成、論理の展開に注目する。	abc	ワークシート (考察の点検)
	定期考査	1 C			ab	
	的確に伝える	4 B	わかりやすく書く	・わかりにくさの原因を知る。	abc	ワークシート
6	意見を示す	4 B	意見を書く	・構成を考えながら作文する。	abc	ワークシート
	論理をとらえる	3 C	内山節「自然と人間の関係をと おして考える」	・文章の論理をたどりながら筆者の主張を読み取る。	abc	学習ノート
	定期考査	1 C			ab	
7	他者を動かす	6 B	説得力のある資料をつくる	・「動的平衡としての生物多様性」を読み、企画書を書く	abc	ワークシート
8	魅力的に伝える	4 B	紹介文を書こう	・『家守奇譚』評を読み、夏期休暇読書課題の紹介文を書く。	abc	ワークシート
9	魅力的に伝える	7 A	工夫して話す	・1分間スピーチをする。	bc	学習ノート
	定期考査	1 C			ab	
10	資料を駆使する	4 B	統計資料をもとに意見を書く。	・解釈を挟まない客観的な視点を磨く。	abc	ワークシート
	他者と交流する	6 A	目的に沿った質問をする	・場面把握や段取りについて考察する。	abc	ワークシート
11	主張を吟味する	3 C	國分功一郎「贅沢を取り戻す」	・論理展開に沿って論拠を確認する。	abc	学習ノート
	定期考査	1 C			ab	
12	情報を比較する	2 C	高階秀爾『『うつくしさの発見』について』	・筆者の主張を正確に捉えることで、美意識について考察する。	abc	学習ノート
1	主張を吟味する	3 B	文章を読み取って主張を書く	・論理的に構成して書く。	abc	ワークシート
2	他者を動かす	2 A	資料を用いて発表する	・効果的な伝え方を工夫する。	abc	ワークシート
	定期考査	1 C			ab	ワークシート
	主張を吟味する	5 A	討論をする	・主張と傾聴を両立させる。	Bc	ワークシート

計 70 時間 (50 分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A 「話すこと・聞くこと」	B 「書くこと」	C 「読むこと」
	25 時間	30 時間	15 時間

7 課題・提出物等

- ・漢字の副教材に沿って漢字テストがあります。テスト範囲は適宜指示します。
- ・授業で用いたプリントや学習ノートの提出を求めることがあります。

8 担当者からの一言

「現代の国語」は、実社会・実生活に生きて働く国語の能力を育成する科目です。実社会に必要な国語の知識や技能を身につけて言葉による見方・考え方を働かせ、論理的に考え深く共感したり、豊かに想像する力を伸ばしたり、言葉が持つ価値への認識を深めたりすることなどを目指します。「現代の国語」及び「言語文化」で学ぶことは、高校3年間だけでなく、皆さんの生涯にわたる基礎となります。授業では、基礎・基本を大切にするとともに、実際に話したり書いたりする学習活動を通して、応用力を高めていきます。(担当：西村 健)